

『水田文庫貴重書目録』編集後記

A postscript of *The Mizuta Library of rare books in the history of European social thought : a catalogue of the collection held at Nagoya University Library*

名古屋大学附属図書館研究開発室
Nagoya University Library Studies

中 井 えり子
NAKAI, Eriko

Abstract

In *The Mizuta Library of Rare Books in the History of European Social Thought : A Catalogue of the Collection Held at Nagoya University Library*, explanatory notes such as the arrangement and format of bibliographical records, process of editing, some problems encountered while editing book-form catalogs utilizing online catalogs are not mentioned. Therefore, besides describing the aforementioned notes, I introduce several copies, such as copies with both cancellandum and cancellans, and copies not identified through the English Short Title Catalogue (ESTC) record of the Mizuta Library that are worthy of special mention.

Keywords

Mizuta Library (水田文庫), *The Mizuta Library of Rare Books in the History of European Social Thought : a Catalogue of the Collection Held at Nagoya University Library* (水田文庫貴重書目録), book-form catalogs, copies with both cancellandum and cancellans, variant states, copies not in ESTC

はじめに

2014年11月に出版された、英文『水田文庫貴重書目録』*The Mizuta library of rare books in the history of European social thought : a catalogue of the collection held at Nagoya University Library.* (Tokyo, Edition Synapse; Abingdon, Routledge, 2014. 国内販売元：極東書店)の編集に携わった。

「水田文庫」は、日本学士院会員・名古屋大学名誉教授水田洋氏(みずた ひろし 1919年生)の旧蔵書からなる名古屋大学附属図書館所蔵の近代西洋社会思想史関連の図書及び雑誌からなるコレクションで、1,636点7,264冊に及ぶ(目録編集当時)。本書はそのうち、1850年までに刊行された洋書(図書・雑誌)2,239冊の目録である。

その編集作業の方法とそれに伴う問題点を記録に残すとともに、編集中や上梓後に発見した珍しい版本を、本稿で紹介したい。

最初に、『水田文庫貴重書目録』の簡単な構成や体裁を記しておく。

1. 目録の構成

水田洋名誉教授の近影と蔵書票

図版一覧

図版 カラー 5点、白黒45点

序文 慶應義塾大学経済学部教授
坂本達哉氏

謝辞

水田洋教授略歴

水田文庫の統計的概要

略語

目録(図書 1604点)

目録(雑誌 32点)

書名索引

2. 図書の書誌レコードの体裁と構成

(1) 書誌記述の構成

各々のレコードは次のように記述した。

一連番号. 標目形 [改行]

タイトル: タイトル関連情報/責任表示.

版表示. 巻数表示. 出版事項. (シリーズ名)
[改行]

形態事項 [改行]

注記 [注記の種類ごとに改行]

折記号 (Signatures:) [改行]

参照書誌 (References:) [改行]

水田文庫本に関わる注記事項 [改行]

旧所蔵者情報(蔵書票、署名等) [改行]

合冊本の製本状態 [改行]

水田文庫請求記号 (Mizuta || 4桁のアラビア数字)

(2) 体裁

1) 配列

著者のアルファベット順とし、同一著者の複数の著作は書名のアルファベット順に配列する。著者不詳の書誌は、Anon. (Anonymous) として、最初に配列する。書誌レコード単位で一連番号を付与する。

2) 参照

共著者、訳者、匿名著作の想定される著者で、標目形にない著者を本文中に参照注記を作成する。

3) 合冊本

個々の書誌ごとに書誌を作成し、どの本に合冊製本されているかわかるようにする。

1冊目 With this is bound: 合冊されている書誌すべての著者名, (一連番号) を記載

2冊目以降 Bound with: 1冊目の著者名, (一連番号) を記載

3. 雑誌の書誌レコードの体裁と構成

(1) 構成

各々のレコードは次のように記述した。

タイトル. 版表示. 出版事項. [改行]

雑誌の初巻の巻号(刊年等) - 最終巻の巻号(刊年等) [改行]

責任表示 [改行]

注記 [改行]

参照書誌 [改行]

水田文庫請求記号 (Mizuta || Sに続けて3桁のアラビア数字)¹. 水田文庫所蔵巻号

<出版年>

(2) 体裁

雑誌は、NACSIS-CATで、図書とは別ファイルになっているため、雑誌の目録は図書の目録とは別扱いとし、図書の目録のあとに、別体系の一連番号を付して掲載した。

個人編集の雑誌もあるが、すべてタイトル順に配列した。

また*The Mirror*は、水田文庫に初版、4版および5版を所蔵しているが、初版は雑誌に、4版と5版は図書として登録されている。このように雑誌の版によっては、図書として登録されていることもあるため、図書のところに配列したものもある。

このような場合は、図書と雑誌の両方の目録から引くことができるように参照を入れた。

I. 編集作業

1. 書誌レコード

国立情報学研究所（以下NII）のNACSIS-CATに登録した書誌レコードを、名古屋大学蔵書検索Online Public Access Catalog（以下OPAC）にダウンロードしたものをベースとした。

1800年以前刊行本の書誌レコードは、『稀観書の書誌記述』等に準拠して記述している。詳細は、II. 3. 西洋初期刊本の書誌レコードの項を参照のこと。

2. 書誌データの編集

(1) 基本標目の選定と標目形の統一

冊子体目録やカード目録と異なり、オンライン目録では、標目の順番を気にする必要があまりなく、複数の著者名リンクフィールドに対して、順序に厳密な規則がなく、まちまちである。そのため基本標目を選定した際、同一人物と思われる著者の標目形にばらつきがあるものを統一した。

(2) 句読点、スペースの調整

OPACでは、画面によっては、フィールドの末尾にピリオドが表示されないため、必要に応じて、付与した。句読点やスペースは、各エレメントを区切る役目があるため、そのまま活字にすると違和感がでる場合がある。出版年の前にあるカンマの前の半角スペースを削除するなど、調整した。

また、西洋初期刊本のタイトル、タイトル関連情報や責任表示は、明確に区別されないで記述されていることが多いため、印刷されているとおりに転記するなど、あえて区切り記号としての句読点を使用しなかった場合がある。

(3) 参考書誌 (References) の記述統一

冊子体の*Standard citation forms for published*

bibliographies and catalogs used in rare book cataloging. 2nd ed. (Washington, D.C.: Library of Congress, Cataloging Distribution Service, 1996)のフォーマットに準拠して記述を統一した²。

(4) 用語の統一

注記でよく記述される、タイトル頁 (t.p.)、略標題紙 (half-t.p.) などの用語を統一した。用語決定にあたっては、できる限り短い形にするという方針とした。

(5) 折記号の記載

西洋初期刊本に、一部の文庫やコレクションを除いて折記号は付与していないが、水田文庫の貴重書目録作成にあたって、版本識別のために必要と考えられ、付与することにした。ただし、時間的な余裕がなく、1800年以前の刊本のうち、多巻物以外の刊本に限定して付与した。

折記号の付与は新規の目録作業であるため、特別に元跡見女子大学教授高野彰氏の指導・協力を得た。

(6) 1801年以降刊行物の個別データ処理

1801年以降の刊本は、NIIの諸規則に従って登録されたNACSIS-CATの参加機関と共有の書誌レコードであるため、決定的な間違いがない限り、作成館の記述によっている。そのため、記述の仕方に違いがみられ、より記述の統一が必要であった。

また、水田文庫本の欠落頁や蔵書票の貼付、書き込みなどの個別データは所蔵レコードからの転記が必要となった³。

(7) 合冊本の整理

前述したように合冊の状態を記述するため、OPAC上で合冊製本されている書誌を検索し、現物から第1冊目を確定した⁴。

3. 書名索引の編集

形式は、「タイトル, エントリー番号」とし、索引に記載するタイトルの文字数は、スペースを含め、60字を上限とし、同じタイトルが二つ以上ある場合は、タイトルはひとつにまとめ、エントリー番号を列記した。ギリシア文字のタイトルは、末尾に記載した。

書名索引の作成手順は次のとおりである。

(1) OPACの書誌・所蔵レコードをExcelファイ

ル形式でダウンロードする。

- (2) ファイルより、一連の書名（タイトル、シリーズ名、各編の書名⁵、内容注記）及び請求記号を抽出し、それらの書名と請求記号を併記して、アルファベット順に配列した作業用のExcel形式のリストを作成する。
- (3) 注記に記述されていても、機械的に抽出できない書名を手作業で拾い出し、上記のリストに付加する。
- (4) 本文原稿の初校の校正刷をもとに、請求記号とエントリー番号を対照させたExcel形式のリストを作成する。
- (5) 上記の「書名リスト+請求記号」のリストと「エントリー番号+請求記号」のリストを対照して、書名索引を作成する。

II. 編集に伴う問題点

1. OPACを利用した冊子体目録

冊子体目録を想定したシステムが作られていないため、フィールドや区切り記号でぶつぷつと切られている書誌要素を、一つのレコードとしてまとめるという作業を手作業で行わなければならなかった。

2. NACSIS-CATの課題

NACSIS-CATの出発点の趣旨が、参加機関が作成した書誌レコードを共有して目録作成の省力化を図るものであるため、原則として稀観書を除いて他機関と書誌レコードを共有している⁶。

また、稀観書の目録規則は、1800年以前の刊本を対象としている。従って、1801年以降1850年までに出版された刊本を含む水田文庫貴重書目録の書誌記述は、1800年以前に出版された版本と書誌データの精粗の差をそのまま反映することとなった。

そのため今回の冊子体目録では、1801年以降の刊本の書誌記述には、判型や多巻物の各巻頁数を記述せず、水田文庫の版本が持つ個別の書誌の特徴は、OPACの所蔵レコードの注記から転記することとした。

共有している書誌レコードは、作成された時期により、また目録規則の運用の違いやシステム環境の進歩等により、記述内容にばらつきが生じるため、冊子体目録としてそのまま使用すると、統一した記述ではなくなってしまう。

NACSIS-CATへの西洋古典籍の登録について、書誌作成の基準を規定するとともに、規則類の適用方針を明確にすることにより、西洋古典籍の登録も促進され、各版本の識別同定がしやすくなる。

3. 西洋初期刊本の書誌レコード

1800年以前出版の版本の目録作成は、以下に列記した規則類に準拠している。しかし、NACSIS-CATの目録作成基準に合わない部分が生じ、それを合致させるために「中央館西洋古典籍整理規定（案）」を作成し、運用している。

- ・『目録システムコーディングマニュアル』文部省学術情報センター編 文部省学術情報センター 1998-。ルーズリーフ
- ・『目録情報の基準』第4版 文部省学術情報センター 1999
- ・『英米目録規則（第2版日本語版）』（AACR2）日本図書館協会 1982
- ・『稀観書の書誌記述』国立一橋大学社会科学 古典資料センター 1986（一橋大学社会科学 古典資料センター Study Series, no. 11）
- ・*Anglo-American cataloging rules*. 2nd ed., 1998 revision. Ottawa, Canadian Library Association; Chicago, American Library Association, 1998.
- ・*Descriptive cataloging of rare materials (books)*. Washington, D.C., Library of Congress, 2007.

しかしながら、「中央館西洋古典籍整理規定（案）」で、各規則類をどこまで適用するかを決めてあっても、どうしてもユレが生じる。OPAC上（NII登録書誌）では、あまり目立たなくても冊子体目録にそのまま転記すると統一性に欠ける印象がぬぐえない。例えば次のような不統一ができてしまった。

・転記の原則

大文字使用法と"I / J"、"U / V" " W"の現代形への変換については、版本識別に必要なこともあり、印刷されているとおり記述し、VTでその他の形を記載することで、様々な検索キーに耐えられるようにするのが、合理的に思われるが、規則類によって方針が異なる部分であり、規則の適用方法が難しい。

- ・タイトル及びタイトル関連情報等の記述
書誌データの編集作業の項でも触れたよう

に、西洋初期刊本のタイトル、タイトル関連情報や責任表示は、明確に区別されずに印刷されていることが多く、タイトル関連情報とするか、注記にするかについて、ユレがでる。

しばしばタイトル頁に印刷されている“*In two volumes*”など、全何巻で出版されたかの記述は、タイトル頁上の印刷されている場所とも関連しているせいか、タイトルに含めるのか、注記に記述するのか、記述するフィールドの決定が難しい⁷。

・多巻物の各巻頁記載のフィールド

多巻物の各巻頁記載は、全巻を通じて頁付けがされており、第2巻以降に前付け頁がない場合は、形態事項を形態事項 (PHYS) に、各巻ごとの頁付けの場合は注記 (NOTE) に記述する場合等があるが、冊子体では統一できなかった。

・注記の記述

多巻物以外の1800年以前刊行本に折記号 (Signatures) を付与、参照資料 (References)、水田文庫本のみに関する特徴的な書誌記述、及びその他の記述方法の統一については、検討事項が多く、以前から部内で作成していた、「注記集」「参考資料集」を適宜整備し、「中央館西洋古典整理規定案」は「名古屋大学西洋古典整理規定案」として、2015年度内に学内で、使用開始の予定である。

Ⅲ. 特筆すべき書誌の紹介

1. 削除紙葉が残っている版本⁸

紙葉が差し替えられているにもかかわらず、削除紙葉が残っている版本が、水田文庫には2点あり、そのうち一点は、高野彰著『洋書の話』(朗文堂 2014)のp.84-86で紹介されているので、そちらを参照していただきたい。

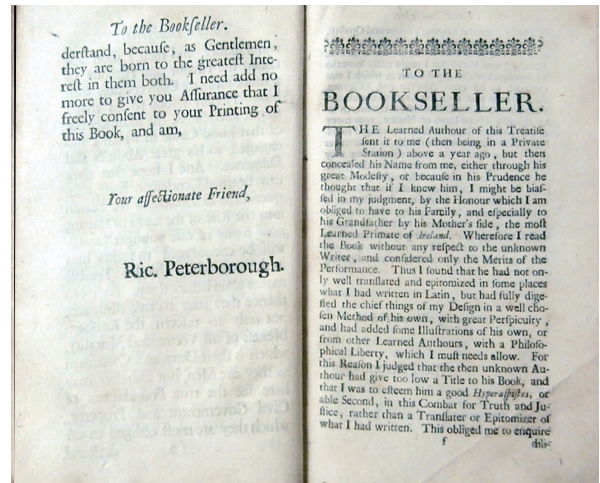
もう一点は、折記号 f の右下に折り目をつけたまま残された削除紙葉 (cancellandum) があり (図1-1)、差し替え紙葉 (cancellans) も、この削除されるべき紙葉の前に綴じられている (図1-2)。

本書はティレル著の『自然法の簡明な探求』である⁹。もともと1葉に印刷されていた *To the bookseller* の部分の活字を大きくして組版を変え、2葉に印刷しなおしたものである。

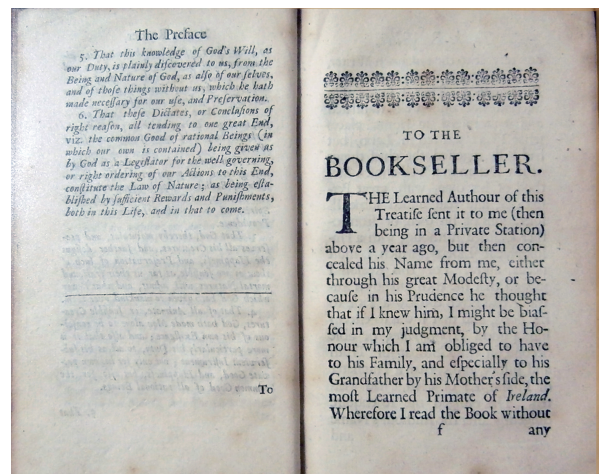
従って、本書の折記号は、次のようになる。

$$A^8 b-e^8 \pi f^2 f^8 B-2C^8$$

ちなみに、同じ書誌で差替えられていないままの版本が、本学のホップズ・コレクションに含まれている (Hobbes I || 275)。こちらの折記号は、 $A^8 b-f^8 B-2C^8$ となる。



(図1-1) 削除紙葉



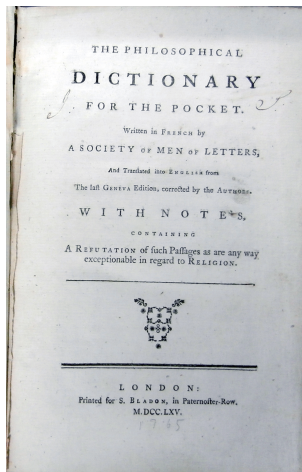
(図1-2) 差し替え紙葉

2. 異刷 (state)¹⁰

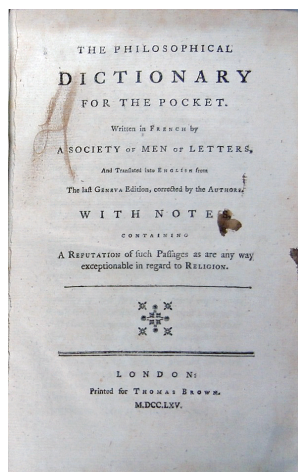
前述の『洋書の話』p.195-196の異刷の事例と類似した事例と考えられるヴォルテール著『哲学辞典』(初版1764年)の1765年刊行の英語版がある¹¹。

この著作は出版事項とタイトル頁のヴィニェット (vignette 装飾模様) は異なるが、組版が同じで頁付のミスまで同じ版本の一つが水田文庫にあり (Mizuta || 1819)、もう一つが

ホッブズ・コレクションIIに収められている (Hobbes II || C 5)。タイトル頁だけを差し替えて同時出版したと考えられる (図2-1, 2-2)。



(図2-1) 水田文庫本 タイトル頁



(図2-2) ホッブズ・コレクション本
タイトル頁

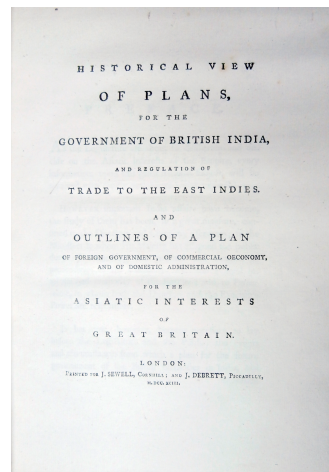
もう一つの事例は、ジョン・ブルース (Bruce, John, 1745-1826) の『英領インド統治計画史論』 (*Historical view of plans, for the government of British India*) のESTCには採録されていない異刷である。この著作は、1793年に匿名で二つの版が刊行されたことがESTCのレコードからわかる。

一つはESTC番号がT148096で、出版事項は、London : printed for J. Sewell, Cornhill; and J. Debrett, Piccadilly, M.DCC.XCIII.で、Errataが、p. xiiの後にある。もう一つはT147333で、出版地、

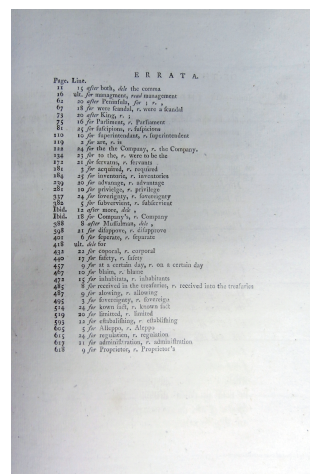
出版者が印刷されておらず、Errataがない。

一方、水田文庫本 (Mizuta || 0248) (図3-1) は、出版事項とErrataがあることはT148096と同じである。しかし、Errataの紙葉がある場所がT148096と異なり、本文の最後にある (図3-2)。しかも、ESTCにリンクされているECCO¹²の画像 (British Library所蔵本) のErrataと比較すると、その内容がわずかであるが異なる。その違いは、ESTC T148096本は、水田文庫本のErrataにはないp.297の脚注の修正が増えていることである。

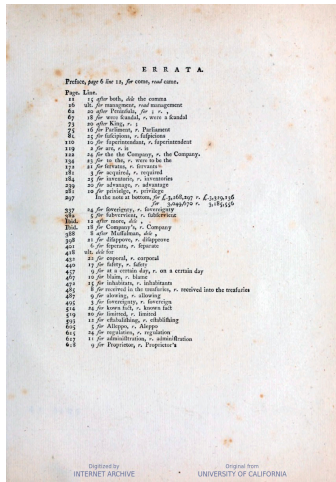
HathiTrust Digital Library¹³ で公開されているカリフォルニア大学本は、T148096本のErrataとは、綴じられている位置が異なり、巻末にあるが、同じ内容であるので本稿に掲載する (図3-3)。



(図3-1) 水田文庫本 タイトル頁



(図3-2) 水田文庫本 Errata



(図3-3) カリフォルニア大学本 Errata14

ロンドン大学のゴールドスミス文庫本の画像が全文データベース化され、The Making of the Modern World: Part I: The Goldsmiths'-Kress Collection, 1450-1850として、商用サービスで提供されているので、この版本を調べてみたところ、やはり二つの版（no. 15632とno. 15633に該当）がある。No. 15632は、出版地、出版者の表記がなく、Errataが本文の最後にあり、ESTC T148096と同じ内容である。No. 15633は、出版地、出版者の記載があり、Errataは本文の最後にあって、水田文庫本と同じ内容である。

ゴールドスミス文庫本は、水田文庫本と同様にいずれもp.369がp.371と間違っただけであり、書誌データに記載されている。ESTCレコードには、何も書かれていないが、ECCOによれば二つとも同様に頁付けが間違っている。

上記を整理すると、1793年刊行の版本は4つあり、ESTCに採録されている2種のほかに、出版事項が、London : printed for J. Sewell, Cornhill; and J. Debrett, Piccadilly, M.DCC.XCIII.とあり、Errataが本文末尾にあり、その内容がESTC T148096と異なる版本と、出版地、出版者の表記がないが、Errataが本文の最後にあり、ESTC T148096と同じ内容の版本がある。前者がGoldsmiths'-Kress文庫のno.15633で後者がno. 15632である。

すなわち、水田文庫本はESTCに採録されている2つの版本のいずれでもなく、Goldsmiths'-Kress文庫本のno.15633と同じ版本であると考

えられる。水田文庫本にないp.297の脚注の修正部分は水田文庫本は無修正のままであるので、刷としては、水田文庫本の方が古いと考えられる。さらに、Errataがなく、本文が修正されていないESTC T147333本がさらに古いと言えよう。

また、異刷の他の例として、トマス・ホップズ著『リヴァイアサン』初版のhead版がある。

1651年刊行の『リヴァイアサン』の真正初版はhead版とよばれる版本であることは周知のことであるが、さらにこのhead版にも刷りの異なる版本があると言われている。水田文庫本のhead版のほかに、本学のホップズ・コレクションにもhead版があり、双方を比較することができる。この比較調査は、高野彰氏に依頼し、その結果は本年報の本号に掲載されているので、詳細はそちらを参照していただきたい。

3. ESTCに収録されていない版本

アンソニー・コリンズ著の『自由思想について』（1713年 ロンドン刊）の仏語訳本が水田文庫にある（Mizuta || 0451）。

Discours sur la liberté de penser / par Mr. ollins ; traduit de l'anglois & augmenté d'une Lettre d'un médecin arabe ; avec l'Examen de ces deux ouvrages par Mr. de Crouzas. tome premier, tome second. Nouvelle édition corrigée. A Londres : [s.n.], 1766. 2 v. in 1 ; 17 cm. (8vo)

Tome 1: XII, 168 [i.e. 268]; t. 2: VIII, 211, [1] p.

以上は、その簡略書誌であるが、タイトル、出版者（この書誌では、出版者不明）、出版年、版型の一致するESTCレコードは、T101511一点しかない。しかし、この書誌データには各巻の頁数が記載されていないため、同定できない。ESTCにリンクされているECCOの書誌データによれば、画像の版本は、British Libraryの所蔵本である。ESTCのデータは2冊本で、合冊されていないほかは、tome 2に略標題紙があることや、その他の書誌レコードの記述内容も水田文庫本と同一である。

一方、本学の18世紀フランス自由思想家コレクション（以下自由思想家本という）の 135 || ZIYUSISO || 133.3 || Cも、タイトル、出版者（こ

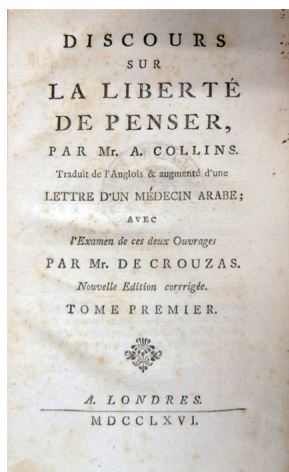
の書誌でも、出版者不明)、出版年、判型は、水田文庫本やESTC本と同じ八折本である。

しかし、水田文庫本と自由思想家本とは頁数が次のように異なり、さらに標題紙のヴィニエット(図4-1, 4-2)も、版本全体の印刷活字の書体も異なる。

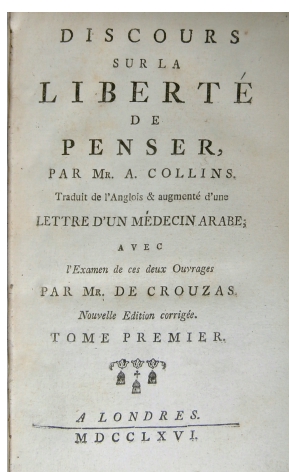
水田文庫本 Tome 1: XII, 168 [i.e. 268]; t. 2: VIII, 211, [1] p.

自由思想家本 Tome 1: XVI, 200; t. 2: VIII, 188 p.

ESTC本にリンクされているECCOの画像を見比べると、自由思想家本と同じであった。



(図4-1) 水田文庫本 タイトル頁



(図4-2) 自由思想家本 タイトル頁

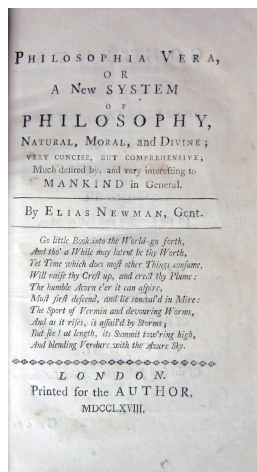
この例は、本学に類似の版本があったことと、ECCOが利用できたことにより、水田文庫本がESTCの書誌とは異なるものであることが

わかった一例である。

次は、ESTCの書誌が見当たらない例である。

エリアス・ニューマン (Newman, Elias 生没年不詳) の『真の哲学』 *Philosophia vera, or, A new system of philosophy, natural, moral, and divine, very concise, but comprehensive, much desired by, and very interesting to mankind in general.* (Mizuta || 1274) は、ESTCのみでなく、COPAC¹⁵ 及び Library of Congress Online Catalogでも書誌が見当たらない。タイトル頁の出版事項は、London, Printed for the author, 1768.とのみ印刷されている(図5)。

しかしながら、*The critical review, or, annals of literature*. Vol. 26 (London, 1768)¹⁶で書評が取り上げられており(p.74)、Pr. Is. と記載されているので、private issue(私家版)であったことがわかる。また、その書評の内容から推測すると、著者ニューマンの主張は賛同が得られず、その後出版されなかったと考えられる。そのため、英国図書館や英国の大学図書館でも所蔵されていないのであろう。



(図5) 『真の哲学』 タイトル頁

おわりに

以上の『水田文庫本貴重書目録』の書誌の作成にあたっては、目録作成中も、その後にわかった類似の版本との比較調査についても、高野彰氏にご指導いただいた。また、本稿に記述した名古屋大学における目録規則に関することは小島由香氏(図書情報係長)に、書誌調査およびOPACの目録修正には、調査支援係および図書情報係に大変

お世話になった。

この場を借りて、御礼を申し上げます。

注

- 1 水田文庫受入時に、図書と雑誌の区別を決定できないものもあり、図書の請求記号を付与したものに、雑誌も混在していた。そのために上記2(1)図書レコードの書誌記述の構成で記載した形式の請求記号がついた書誌も雑誌の目録も含まれる。
- 2 現在は、新しい方針のもとで、インターネット上で更新されている Standard Citation Forms for Rare Materials Catalogingのフォーマットに準拠。http://rbms.info/scf/ (2015.10.30参照)
- 3 名古屋大学では、1801年以降の刊本の個別データは、所蔵レコードの注記フィールドに記入している。
- 4 合冊されている複数の書誌に、同一の資料ID、同一請求記号が付与されているため、それらのいずれかで検索すれば、合冊されている書誌全部が一覧できる。
- 5 多巻物でも合冊本でもないが、一冊の本の各編(part)が、個別のタイトル頁を持っている場合は、書名索引に掲載した。
- 6 『目録情報の基準』第4版 4.2.3 図書書誌レコードの作成単位による。
- 7 *Descriptive cataloging of rare materials (books)*の1D3. Statements about illustrations or volumes参照。
- 8 この項の用語や校合式については、高野彰『洋書の話』p.69を参照。
- 9 カンバーランド著『自然法に関する哲学的探求』(1672)の英語による要約本。この版本の簡略書

誌は次のとおりである。

- Tyrrell, James, 1642-1718.
A brief disquisition of the law of nature, according to the principles and method laid down in the Reverend Dr. Cumberland's (now Lord Bishop of Peterborough's) Latin treatise on that subject ...
London : Printed, and are to be sold by Richard Baldwin ..., 1692. (Mizuta || 1785)
- 10 異刷については、高野彰『洋書の話』p.192-194を参照。
 - 11 この版本の簡略書誌
Voltaire, 1694-1778.
The philosophical dictionary for the pocket / written in French by a society of men of letters ...
London : Printed for S. Bladon ..., 1765. (Mizuta||1819)
 - 12 ECCOは、Eighteenth Century Collections Onlineの略称で、18世紀に英語または、英語で刊行された印刷物を収録したデジタル全文データベース。
 - 13 ミシガン大学やハーバード大学をはじめとする米国の大学図書館を中心とした学術・研究図書館の共同デジタルアーカイブ。
 - 14 <http://babel.hathitrust.org/cgi/pt?id=uc2.ark:/13960/t50g3xg2j;view=lup;seq=649> (2016.2.9参照)
 - 15 COPACは、英国の大学図書館コンソーシアムの総合目録。
 - 16 *The critical review*は、1756年から1817年までロンドンで出版された批評誌で、編集には、シュモレット (Smollett, Tobias George, 1721-1771)、ハミルトン (Hamilton, Archibald, 1719-1793) らがあたった。